



# 創造

現在の社会人の悩みの9割は、人間関係に起因すると言われています。学校は社会の縮図とも評されるだけに、子どもたちもまた、人間関係に戸惑い、何らかのストレスを感じながら、日々学校生活を送っているのではないかと考えています。

平成25年に「いじめ防止対策推進法」が施行され、学校現場・教育委員会での取組が強化されてきているにもかかわらず、いじめ事件は全国で発生しています。重大事態に陥ったニュースを見聞きするたびに胸が痛み、自校のこととして捉えるようにしています。いじめに該当するか否かは、けんかやふざけ合いであっても、見えないところで被害が発生している場合もあるため、背景にある事情の調査を行い、子どもの感じる被害性に着目して判断しなければなりません。昨年度のPTA総会の席でも申し上げましたように、何事もなく健全な学校生活を過ごすことが理想ですが、なにぶん成長過程にある子どもたちですから、多少のいざこざやトラブルはつきものです。子ども同士が本音でぶつかり合い、心を成長させることも学校という集団生活の重要な役割の一つです。ですから、本校では、子どもたちのいざこざをなかつたことにはしません。それぞれの言い分をしっかりと聞き取って事実関係を把握したうえで、上手に仲直りができる、けんかした相手を許すことができる、二度と過ちを犯さないよう行動できる、そんな子どもたちを育てたいと思っています。こうした体験から人間関係形成を学びとり、結果的に子どもたちの将来をより豊かにできると信じています。

いじめ防止で最も大切なのは、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりだと私は思っています。「いじめは人の尊厳を傷つける行為で、命に関わることだから絶対に許されない」という毅然とした態度で対峙し、子どもたちに「人との正しいつながり方や人間関係の在り方」を私たち大人がしっかりと教えていく必要があります。



6月は、「心のきずなを深める月間」です。コロナ禍で人との身体的距離をとらざるを得ない状況下であっても、決して子どもの間に心理的距離を生むわけにはいきません。

本校では、現在、学校（級）生活の向上につながる役割（委員会活動・係活動）を一人一人に持たせ、個々の役割を果たす過程を大事にしながら（自己評価）、他者との絆づくり（相互評価）に取り組んでいます。また、縦割り班を編成し、異学年交流を通して他者への思いやりやいたわりの気持ちを育めるような活動も今後推進していきます。そして、毎日すべての子どもが元気に笑顔で登校し、満足感ただよう表情で下校しているかを全職員で見取りながら、未然防止と早期発見に今後も努めてまいります。

ご家庭や地域で気になることがありましたら、ぜひ学校までお知らせください。

学校経営の一端を担う児童会活動がようやくスタートしました。9つの委員会に分かれて可視化できる目標を決めました

保健委員会では、「健康第一！ 自分の命、みんなの命を大切にする一人一人になる！」というスローガンの下、「生活リズムが整い、笑顔と元気あふれるさしきっ子」を目指して活動に取り組みます。毎月の保健目標や健康・安全などに関する情報の紹介とともに、今年度は特に感染症予防に力を入れていきます。

(保健委員長 6年 山田姫愛さん)



## 6月 学校ウォッチング



今年度初めての全校集会を開きました。新型コロナ感染防止策として密接・密集を避けるため、パソコンと大型モニターを活用した“オンライン集会（Zoomを使用）”形式で実施しました。校長室のパソコン内蔵カメラに向けて話す私の動画と音声を、子どもたちは各教室の大型モニターで視聴しました。

初めての経験で互いに困惑しましたが、今後の教育活動の幅が確実に広がることを身をもって実感できました。



### 地域の人から学ぶ ①



学校再開初日、JAあしきたの3名の方に運動場南側にある学校園をトラクターで耕していただきました。続いて鋤をセットした耕運機で畝を立て、最後に除草のためのマルチを張っていただきました。学校だけではできないことを、快く引き受けてくださりとても助かりました。この畑で芋づくりをするのは1・2年生79名です。



10日(水)、学年別に分かれてサツマイモの苗の植え付けをしました。苗を傷つけないように穴を掘って丁寧に植え、上からしっかり土をかぶせました。11月頃に収穫できることを知ると、生長の早さに驚いたようで「来年できると思っていました」との声が聞こえてきました。準備・指導していただいたJAあしきたの皆さん、ありがとうございました。【1・2学年担任より】